

2014年度版

# 環境報告書

(2014年4月~2015年3月のまとめ)



とちぎ"コープ"

食卓を笑顔に、地域を豊かに。

## 理念

# CO-OP ともにはぐくむ暮らしと未来

私たちは、一人ひとりが手をとりあって、  
一つひとつの暮らしの願いを実現します。  
私たちは、ものと心の豊かさが調和し、  
安心してらせるまちづくりに貢献します。  
私たちは、人と自然が共生する社会と  
平和な未来を追求します。

## 環境方針

とちぎコープは、「環境に配慮した暮らし」と「持続可能な循環型社会の実現」を目指して、コープネットグループの共通の理念とビジョンのもと、店舗・宅配における商品の供給及び取り扱う商品・サービスのあらゆる面で地球環境に配慮して行動します。

事業活動を通じ環境負荷を低減する仕組みをつくり、定期的な見直しと環境マネジメントシステムの継続的な改善によって、地球環境保全と汚染の予防につとめます。

また、環境保全に関する法規制およびとちぎコープが受け入れを決めた事項を順守します。

1. 地球温暖化防止につながるCO<sub>2</sub>削減に取り組みます。
2. 廃棄物の削減と再資源化をすすめます。
3. 組合員とともに環境活動に取り組みます。

2014年9月21日制定  
とちぎコープ生活協同組合  
専務理事 福田 雅彦

# 2014年度の取り組み

## 環境方針（1）

### とちぎコープの事業活動に伴う二酸化炭素排出の削減。

地球温暖化をはじめとする地球環境問題は、人類の生存に関わる問題とされています。とちぎコープは、日本生協連の呼びかけのもとコープネット事業連合とともに「温暖化防止自主行動計画」を作成し、2020年度の二酸化炭素の排出量を基準年（2005年度）の5313トンから15%削減し4516トンにする目標を掲げています。

とちぎコープの事業活動における二酸化炭素の排出は、電気使用由来によるもの（約70%）と車輛燃料由来によるもの（約29%）とで、ほとんどを占める構成となっています。2014年度も電気の使用量削減と燃料使用量削減の2項目を環境目標に設定して取り組みました。

電気使用量削減対策では、震災後に事務所やバックヤードの照明をLED化しましたが、今年度はSM店3店舗の店内照明をLED化しました。また西那須野センターと壬生センターにそれぞれ約50Kwの太陽光発電装置を設置で発電した全量を自家消費し、購入する電力を削減しました。結果としてCO2の排出量を前年実績比5%にあたる177トン削減できました。車輛燃料の使用量は夕食宅配の全事業所展開やデリ宅配のコース増加などで増加しました。その結果CO2排出量は昨年実績費8.8%にあたる114トン増加してしまいました。その他LPGや灯油の使用量が若干減って、全体では4809トンとなり、2014年度目標を約78トン下回って達成しました。

**【目的】2014年度のとちぎコープの事業活動に伴う二酸化炭素排出を2005年度対比92.0%以下にします。**

**【2014年度目標】**とちぎコープの事業活動に伴う二酸化炭素排出を4,886トン以下にします。

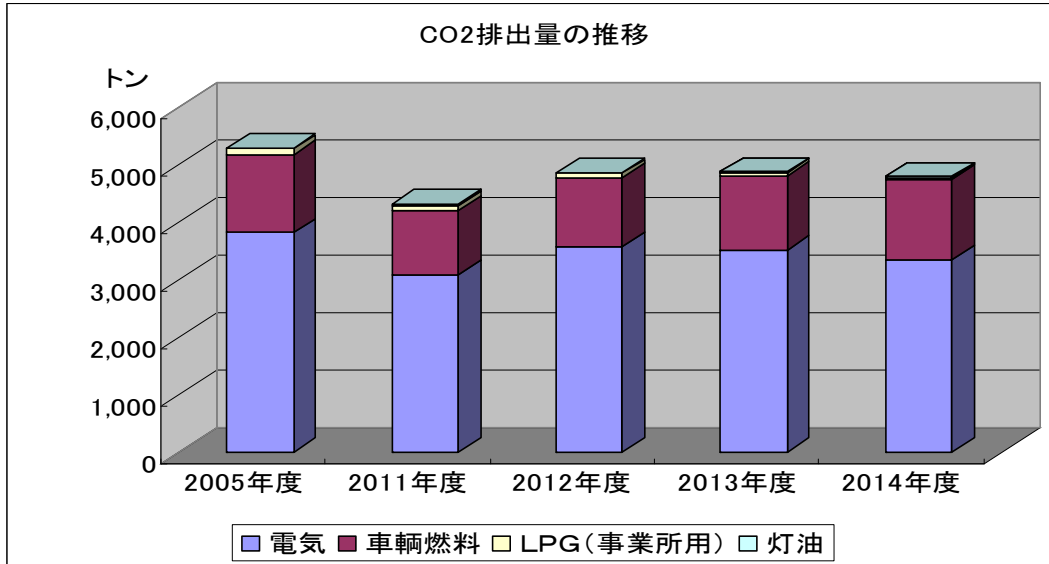
**【個別目標1】**電気使用由来の二酸化炭素排出を3,413.7トンにします。

**【個別目標2】**車輛燃料由来の二酸化炭素排出を1,410.8トンにします。

	実績（トン）	計画（トン）	計画比	評価
全体	4,809	4,886	98.4%	○
電気	3,356	3,414	98.3%	○
車輛燃料	1,401	1,411	99.3%	○
LPG	39	46	84.6%	○
灯油	12	16	77.8%	○

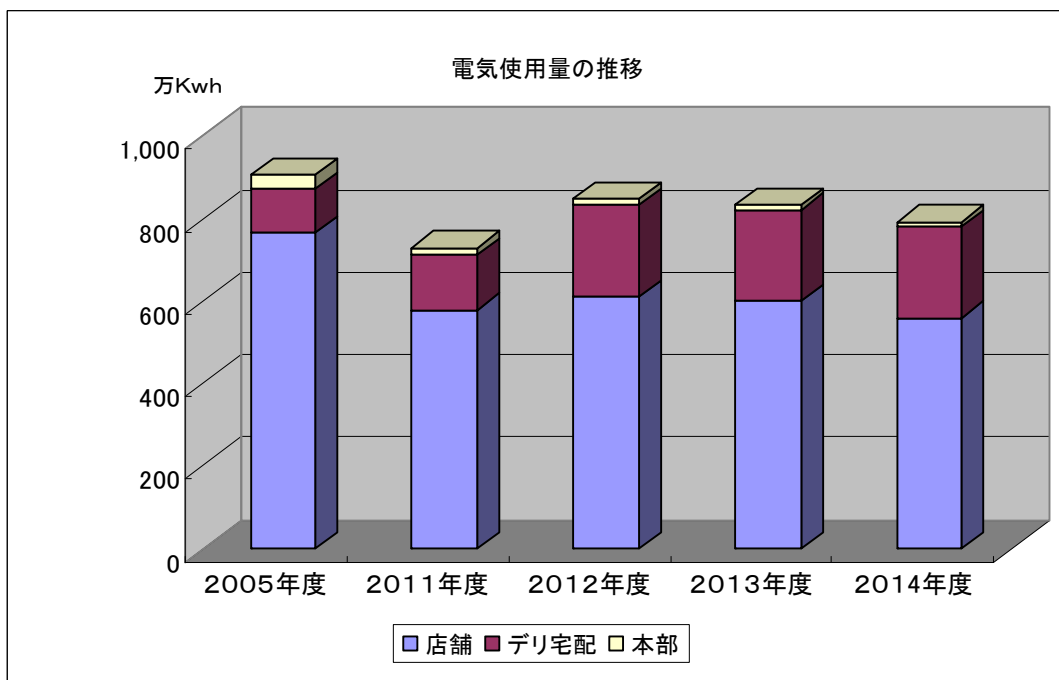
○ 基準年2005年度からの推移 CO2 (トン) 電気のCO2 排出係数 0.423kg/kwh

主要な排出項目	2005年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
電気	3,833	3,089	3,591	3,533	3,356
車両燃料	1,365	1,131	1,197	1,288	1,401
LPG (事業所用)	97	84	78	55	39
灯油	17	19	19	17	12
合計	5,313	4,324	4,885	4,892	4,808



○ 電気使用量の推移

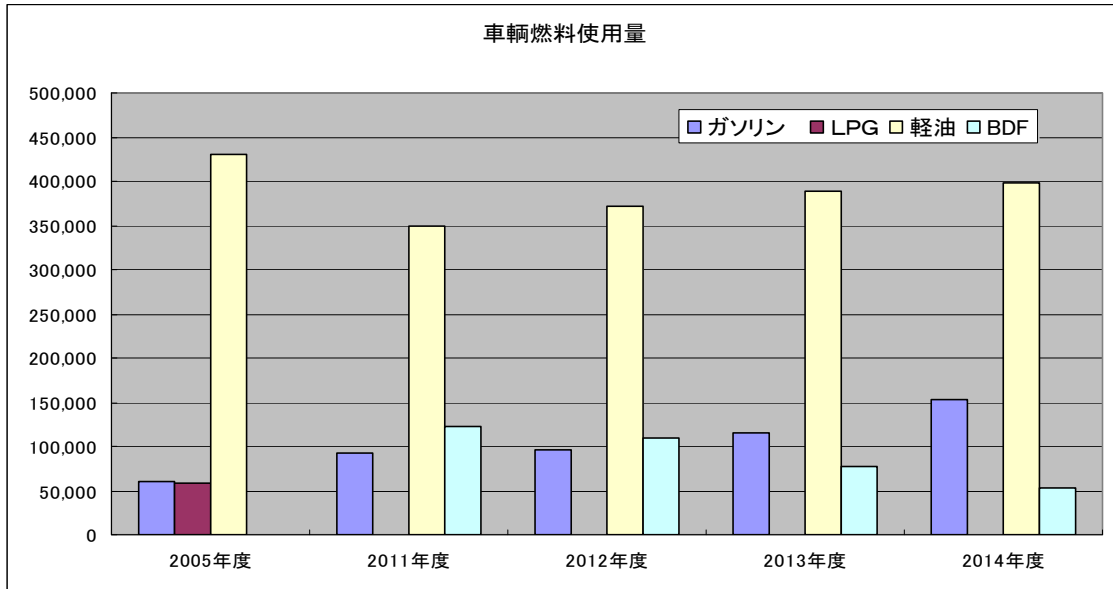
単位 k w h	2005年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
店舗	7,669,956	5,793,745	6,128,652	6,008,186	5,598,556
デリ宅配	1,072,422	1,351,668	2,213,100	2,208,280	2,207,318
本部	319,449	157,003	147,294	135,218	125,779



デリ宅配センターでは昨年より増えましたが、店舗および本部が削減し全体では計画を達成しました。

○ 車輻燃料の使用量推移 単位 L

燃料種別	2005 年度	2011 年度	2012 年度	2013 年度	2014 年度
ガソリン	59,568	91,972	96,053	115,896	152,964
L P G	59,364	0	0	0	0
軽油	429,510	349,659	371,027	388,132	398,634
BDF	0	122,356	108,537	78,224	52,050



コープデリ宅配全体では、計画比 99.0% (前年比 108.7%) の実績で年間目標を達成しました。

バイオディーゼル燃料は新型車輻で不具合が発生する可能性があるため、新規導入を見送っています。リースアップなどで車輻の入れ替えをした際には軽油使用車輻にしたため、バイオディーゼル燃料が減って、軽油の使用量が増えています。バイオディーゼル燃料を使用する車輻は2015年3月末で32台となっています。ガソリンは夕食宅配の拡大に伴い使用量が増加しています。

エコドライブの実践で燃費の向上に、地図システムを活用した配送コースの見直しによって走行距離の短縮に努めています。

**とちぎコープの二酸化炭素排出量の推移 単位(トン)**

年度	店舗		コープデリ宅配		全体	
	CO2 排出量	2005 年度比	CO2 排出量	2005 年度比	CO2 排出量	2005 年度比
2005	3,293	100.0%	1,795	100.0%	5,313	100.0%
2011	2,490	75.6%	1,740	96.9%	4,324	81.4%
2012	2,632	79.9%	2,153	119.9%	4,885	91.9%
2013	2,581	78.4%	2,212	123.2%	4,892	92.1%
2014	2,400	72.9%	2,310	128.7%	4,809	90.5%

2013年度から電気によるCO2排出量は2005年度の電気事業連合のCO2排出係数(0.423Kg/Kwh)を使用することにしました。

## 環境方針（２） 廃棄物の削減と再資源化

【目的】 廃棄物の削減と再資源化を進めます。

【２０１４年度目標】 事業系一般廃棄物を前年比０．５％減らします。

※（宅配１０２．０％、SM 現状維持、ミニ ８９．９％、本部 現状維持）

		実績 (Kg)	計画 (kg)	計画比	評価
全体		145,849	141,408	103.1%	×
	宅配	31,814	32,020	99.4%	○
	SM	101,460	95,710	106.0%	×
	ミニ	11,265	12,388	90.9%	○
	本部	1,310	1,290	101.6%	×

とちぎコープ全体では計画を達成できませんでした。コープデリ宅配センターでは排出量を削減できましたが、SM店では供給高が上がったため廃棄物の排出量も増えてしまいました。

店舗では栃木県との協定を締結し、全店でレジ袋を有料化しています。マイバッグ持参の取り組みを進め、持参率は８３．３％になりました。

## 環境方針（３） 組合員とともに環境活動を取り組みます

【目的】 環境活動に参加する組合員を増やします。

【２０１４年度目標】 リサイクル品の回収量を２０１３年実績に対し５％増やします。

【組合員さん参加のリサイクル】

	項目	当年度 (kg)	前年度 (kg)	前年度比	評価
	回収量合計	2,093,364	1,903,392	110.0%	○
内 訳	ペットボトル	41,192	42,039	98.0%	↓
	トレイ	8,014	6,381	125.6%	↑
	資源紙	1,953,943	1,748,011	111.8%	↑
	紙パック	49,932	61,691	80.9%	↓
	アルミ缶	7,103	5,627	126.2%	↑
	卵パック	8,168	7,704	106.0%	↑
	シッパー内袋	25,012	31,940	78.3%	↓

ペットボトルと紙パックおよびシッパー内袋が減っていますが、ペットボトルの軽量化や牛乳の消費量の減少によるものと思われます。コープデリ宅配のチラシ類および店舗で新たに透明トレイの回収を開始したために食品トレイの回収量が増加しました。

鶴田店（宇都宮市）と利保店（足利市）では自治体の廃食油回収拠点として協力しました。

その他、「ECOテック&ライフとちぎ２０１４」「エコ・もりフェア２０１４」に出展し、環境クイズや環境配慮商品の展示などを行いました。栃木店とおもちゃのまち店でどんぐりや木の枝を使って置物などを作るネイチャークラフト（自然工作教室）を開催しました。

## その他の主要パフォーマンス項目の進捗状況

### 環境に配慮した商品の取り扱いの拡大、 情報提供の強化、ご利用の拡大を推進します。

組合員みなさんに、積極的に環境に配慮した商品を提供すること、及び、それらの商品や環境に関する情報を提供することなどを、とちぎコープの事業活動において、環境に有益な影響を及ぼす課題として取り組みをすすめました。

#### 【環境配慮商品の普及】

	当年度	前年度	前年度比	増減
点数(点)	532,675	464,629	114.6%	↑
金額(千円)	241,458	233,259	103.5%	↑

対象商品：①日生協「環境配慮商品」(環境に配慮した食品含む)、②日生協「ちょこっとエコ商品」、③エコマーク商品、④グリーンマーク商品、⑤再生紙Rマーク商品、⑥PETボトルリサイクル推進協議会マーク、⑦飲料品紙容器マーク商品、⑧JAS有機農産物表示と特別栽培農産物に関わる表示ガイドラインに基づき生産された農産物、⑨上記以外の環境配慮商品(コープネット環境配慮商品、無洗米などでコープネットで認定したもの)

### 事業から排出する廃棄物の発生抑制とリサイクル活動を 推進します。

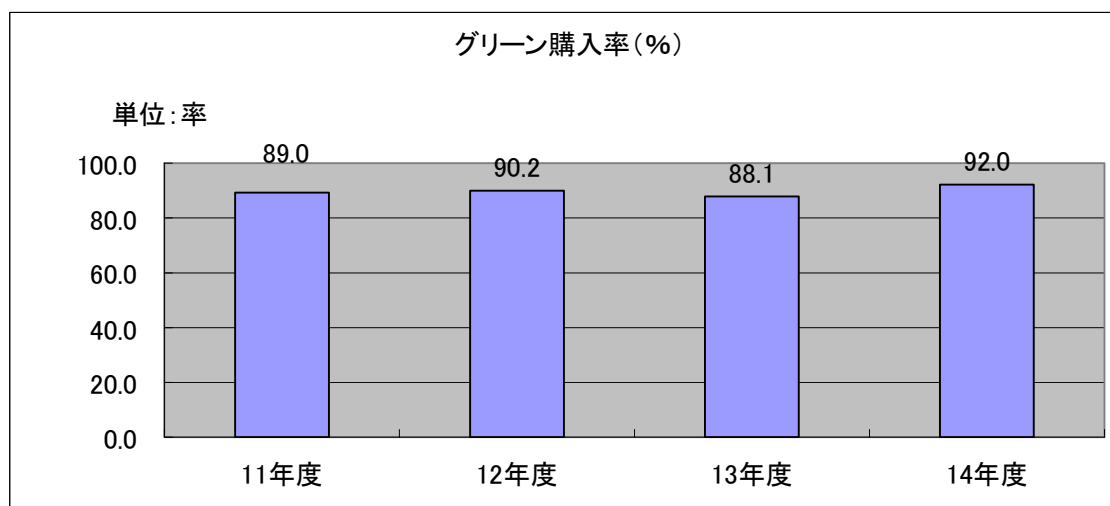
単位:トン	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度
魚腸骨 (魚の内臓や骨)	35.5	30.0	32.7	37.0	41.3
廃食用油 (惣菜の揚げ油)	12.3	11.7	11.7	12.4	15.5
生ゴミ (野菜くずなど)	104.5	117.0	123.1	103.4	102.9
魚箱 (発泡スチロール)	7.9	8.2	7.1	6.4	7.5
ダンボール	341.3	386.0	377.4	368.1	394.6

事業の伸張とともに発生量が増加傾向にありますが、基本的に全量をリサイクルしています。食品廃棄物では、魚腸骨は家畜の飼料に、廃食用油はインクや飼料・BDFなどに、リサイクル利用されています。生ゴミから作られたたい肥を使った野菜を越戸店で販売しています。

**資源や資材の無駄な使用をなくし、  
使用する資材は積極的にグリーン購入をすすめます。**

【グリーン購入】

	2013年度	2014年度	前年比	評価
購入率	88.1%	92.0%	104.4%	↑



とちぎコープでは事務用品や文具、事務所等での消耗品を購入する場合には環境に配慮した環境ラベルなどが張ってある商品を積極的に選択するグリーン購入に努めています。グリーン商品を対象としたグリーン購入比率が90%を超える状況となったので、この状態を維持できるよう確実に運用管理していきます。

## 従事者の教育・訓練に関すること

とちぎコープEMSガイドブック2014年版を6月に作成し、力量評価と連動した定期教育を実施し、7月度で終了をしました。また、3月28日には特定非営利活動法人気候ネットワーク東京事務所長の桜井 貴子氏を講師にお迎えし「気候変動の危機を私たちは乗り換えるか?」～クライメート・アクション・ナウ!～をテーマにした学習会を開催し、職員220名が参加しました。地球温暖化の世界的な取り組み状況や日本の取り組みなどをわかりやすくご説明いただき、99%の人が理解が深まった・少し深まったとアンケートで回答していました。

## 順守評価に関すること

環境に関連する法令・条例およびその他の要求事項については、毎月の経営会で報告し不適合がなかったことが確認されています。

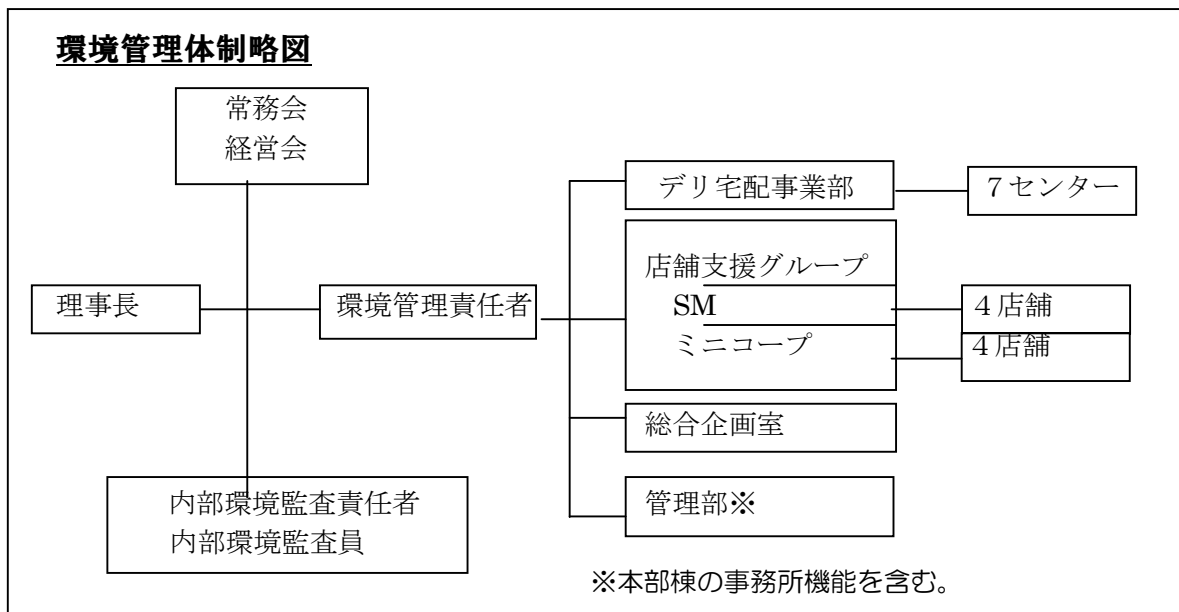


## 環境マネジメントシステムに関すること

環境マネジメントシステムを本来業務のシステムの一環として推進しています。環境マネジメントの運営に関わる論議は、常務会、経営会、及び各部門の機関会議の中で行っています。

### 【 環境管理体制 】

環境マネジメントシステムも事業経営の一部であるとの考えから、環境マネジメントの体制を業務のマネジメントの体制と一致させています。



### 【 コミュニケーション 】

組合員のみなさんのご意見・ご要望は、「組合員の声」担当部局が中心に管理しています。業務に関連するものはそれぞれの担当部局、環境が中心のものについては環境マネジメント事務局が対応し、回答が必要なものについてはすべて回答しています。回答については、「組合員の声」全体のデータベースの中で管理しています。

2014年度は、行政等への報告や、住民へのお知らせが必要となる重大な事故はありませんでした。

### 【 内部環境監査 】

2014年9月に関東三生協統一マネジメントを解消しました。今年度はとちぎコープが単独で「内部環境監査規程(TEMS-020)」「内部環境監査計画書(TEMS-020-F1)」に従って監査を実施しました。2014年10月22日に初回会議を開催し、18部署を監査員35名で分担して11月13日までに監査を終了しました。重大な不適合と軽微な不適合はありませんでした。プラス評価として14件(前年8件)で、事業所・部署で取り組んでいる内容について効果が現れていること、効果が期待できることなど、取り組みを全体共有できるように発信できました。なお、観察指摘10件(前年12件)についてはそれぞれ是正処置および是正項目の有効性を確認しました。

## 【とちぎコープの概要】

(2015年3月現在)

理事長	古口 葉子
組合員数	236,016 人
出資金	68 億 6300 万円
事業高	264 億 6980 万円
職員数	正規 229 人、 定時 714 人(正規換算数 382 人)

### 事業所

- 配送センター 7ヶ所  
西那須野センター(那須塩原市)  
高根沢センター(高根沢町)  
今市センター(日光市)  
宇都宮センター(宇都宮市)  
壬生センター(壬生町)  
小山センター(小山市)  
足利センター(足利市)
- ミニコープ 4店舗  
コープ矢板(矢板市)  
コープ城東(小山市)  
コープ野木(野木町)  
コープ富岡(佐野町)  
※売場面積50坪タイプの小型店
- スーパーマーケット(SM店) 4店舗  
コープ越戸(宇都宮市)  
コープ鶴田(宇都宮市)  
コープおもちゃのまち(壬生町)  
コープ栃木(栃木市)  
※生協直営の売場面積450坪タイプのスーパーマーケット
- とちぎコープ本部(宇都宮市)

発行日 2015年6月16日

とちぎコープ生活協同組合

環境管理責任者 大森 光雄

〒321-0195 栃木県宇都宮市川田町 858

T e l (028) 634-5115 F a x (028) 634-5114